

地域コミュニティを協働で活性化

～大阪経済大学とUR都市機構が連携協定を締結～

学校法人大阪経済大学（大阪経済大学）と独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）は、UR賃貸住宅団地及びその周辺地域（地域）において、地域コミュニティの形成・強化及び活動の活性化に資することを目的として、令和元年6月1日（土）に「大阪経済大学と独立行政法人都市再生機構との地域連携・協力に関する協定」を締結しました。

この度、本協定に基づき、6月21日（金）にUR新豊里団地で協定締結後初めてのイベントとなる「元気づくり体操講座」を開催します。



4月26日 元気づくり体操講座の様子

今後も、URは急速に進展する少子高齢化を踏まえ、UR賃貸住宅において「地域医療福祉拠点化」（詳細は裏面参照）を進めていきます。

【元気づくり体操講座概要】

- 日時 : 令和元年6月21日（金）13:30～14:30（予定）
- 場所 : UR新豊里団地 集会所（大阪市東淀川区豊里二丁目）
- 内容 : 大阪経済大学高井逸史人間科学部教授による「元気づくり体操講座※」を実践

※元気づくり体操とは、体づくりと認知症予防を兼ね備えた高井教授オリジナルの体操です。

お問い合わせは下記へお願いします。

UR都市機構 西日本支社 住宅経営部 ウェルフェア推進課

（電話）06-6969-9182

総務部 総務課

（電話）06-6969-9008

■地域医療福祉拠点化とは？

URでは、多様な世代が生き生きと暮らし続けられる住まい・まち“ミクストコミュニティ”の実現を目指し、UR賃貸住宅において「地域医療福祉拠点化」を推進中。地方公共団体や自治会等の地域関係者と連携し、以下の3つの内容を総合的に実施しています。

- ①地域における医療福祉施設等の充実の推進
- ②高齢者等多様な世代に対応した居住環境の整備推進
- ③若者世帯・子育て世帯等を含むコミュニティ形成の推進

団地を資源に、まちに必要なウェルフェアを

団地の地域医療福祉拠点化

医療・介護・子育て
施設の誘致

各世代のニーズに配慮した
住宅やサービス導入

高齢者も子育て世代も
安心できるコミュニティ



詳しくは、 <https://www.ur-net.go.jp/welfare/kyoten/index.html> をご覧ください。